



ナマズの知恵袋

平成27年(2015年)12月1日
編集・発行 滋賀県立図書館



昔なつかしい

伝承遊びを調べる



子どもの頃遊んだケンパの図面はどんなだったかなあ。伝承遊びを調べてみると...

- 『図解遊びの事典 幼児編』 三宅邦夫編 明治図書 1982年 [R-7819-ミ] 幼児の遊びを網羅しています。『幼児保育学辞典』1980年の姉妹書として刊行。
- 『日本こどものあそび大図鑑』 笹間良彦著画 遊子館 2005年 [R-3845-サ] 古代～昭和までを収録。付録「近世遊戯わらべうた集」では類歌を分類しています。
- 『ふるさとあそびの事典』 東陽出版 1976年 [2-3845-フ] 地方の遊びの由来と歴史を紹介。「行事とあそび」は、こどもの民俗学的内容です。
- 『伝承遊び事典』 芸術教育研究所編 黎明書房 1985年 [2-3845-ケ] 豊富な写真で月毎に遊びを紹介。昔の子どもの雰囲気がよくわかります。

ケンパ(石蹴り)区画の一例↑

●『童遊文化史 考現に基づく考証的研究』 半沢敏郎著 東京書籍 1980年 [2-3845-1~4+別巻]

人間は遊びを創造し、そして遊ぶ生命体である。
(本文より)

「童遊びの百科事典」というべき本書は50種目の遊びについて解説しています。別巻には、42種目の遊びの写真や絵が網羅されています。

「遊びの時間」比較表によると、2時間以上遊ぶこどもの割合が、明治と昭和では、男女とも10%以上減少しています。昭和のこどもの生活は、忙しくなったようです。

第1巻に「童遊び百年の歩み」と題し明治～昭和48年まで10～30年の間隔で、男女別人気遊びのランキングと県別全国遊び地図があります。




●『子どもに伝えたい伝承あそび 起源・魅力とその遊び方』 小川清実著 萌文書林 2001年 [J-79]

「伝承あそび」という言葉が登場するのは、昭和40年代に入ってからでした。
(本文より)

本文より2

本文より3

本文より1

「かーごめ、かごめ...♪」誰もが知っている遊び。「夜明けの晩につるとかめがすべった♪」この意味は? 「夜明けの晩」ていつ? 「かごめかごめ」は、「神おろし」の歌? 著者は、柳田国男説を紐解きます。

セーラームーン1992年
ポケモン 1995年
たまごっち 1996年
10年間ごとに時代の特徴やブームを解説しています。



- 『こども遊び大全 懐かしの昭和児童遊戯集』 遠藤ケイ絵と文 新宿書房 1991年 [7-79] 著者の手書き絵が、懐かしさを醸し出す読み物です。
- 『遊び図鑑 いつでもどこでもだれとでも』 奥成達文 福音館書店 1987年 [J-78] 子どもたちの生き生きとしたイラストを使って、野外遊びを紹介しています。
- 『草花あそび全書』 多田信作著 池田書店 1995年 [J-78] 草花あそびに限定し、内容が豊富。巻末の「植物ものしり図鑑」が役に立ちます。
- 『完全図解たのしい伝承あそび全集 情緒あふれる楽しいあそび498種』 東陽出版編 1990年 [3-7819-カ] 収録数が群を抜いて多く、簡潔な説明が特徴です。

野外遊びを調べる↑

室内あそびを調べる↓

●『歌あそび百科 170曲の歌遊び、30曲の伝承歌遊びを図解楽譜付』 一木昭男[ほか]編 学研 1997年 [7-79] 「地方に伝わる歌あそび」を紹介しています。巻末の索引が便利です。

●『お手玉』『ままごと』『独楽』『けん玉』『ビー玉』ほか 文溪堂 [JH-79]

●『絵すごろく 生いたちと魅力』 山本正勝著 芸艸堂 2004年 [G-7980-ヤ]

すごろくの誕生は、古代エジプト(本文)

●『ことわざで遊ぶいろはかるた』 時田昌瑞著 世界文化社 2007年 [G-7980-ト]

「臭いものに蓋」(江戸系)を知っていても、「臭いものに蠅」(上方系)を知ったらもっと人生が楽しくなります。パロディ満載!

オールカラーのかわいい写真に魅了されます。<伝承あそび>シリーズ。

立版古とは、歌舞伎の名場面などを紙で組み立てたものです。

↑(表紙の一部)




世界各国の伝承遊び



野外あそびを調べる

『国際理解にやくだつ世界の遊び 1~7』 ポプラ社 1998年 [7-78]

世界の子どもの遊びが、アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・南アメリカ・オセアニアの地域別に、絵入りで分かりやすく説明されており、各国の遊びを知りたい時や、実際に真似して遊びたいときに使える本です。

『世界の子どもの遊戯集 1~4』 K・ケレメン・マリアンヌ著 誠文堂新光社 1984年 [7-7819]

世界各国の屋外での伝承遊びを、おにごっこ・ボール遊び・競争遊びなどの、遊びの種類ごとに分類し、体系化した本です。遊びごとに、年齢・人数・必要な道具が記されています。

世界のじゃんけん

『世界のじゃんけん大集合』 田中ひろし著 こどもくらぶ編 今人舎 2009年 [J-79]

じゃんけんに似た遊びは世界の多くの国にあります。この本には、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカの47カ国のじゃんけんが紹介されています。

室内あそびを調べる

『世界のゲーム事典』 松田道弘編 東京堂出版 1989年 [2-7980-マ] 紙と鉛筆でできるゲーム、言葉を使うゲーム、サイコロゲーム、チェスや将棋等のボードゲーム等々を図入りで簡潔に解説。参考文献とゲーム名索引あり。

『トランプゲーム事典』 松田道弘編 東京堂出版 1988年 [3-7972-マ] 世界各国のカード・ゲームから、著者が実際にプレイして面白かったゲームをタイプごとに紹介。プレイする人数別のほか、子ども向きのゲームはまとめて紹介。

『世界遊戯法大全』 復刻版 松浦政泰編 1984年 本邦書籍 [2-7980-マ] 原著は1907年刊。世界と日本の遊戯を広く紹介しており、読物としても面白く、風俗史的価値もある本。



滋賀の伝承遊び



カロム盤

『カロムロード』 杉原正樹編著 サンライズ印刷 1997年 [S-7951- 97]

カロムとは世界の国々で親しまれているにもかかわらず、日本では滋賀県の湖東・湖北地域しか遊び継がれなかった盤上ゲームです。その歴史と、“日本選手権大会”を開催するまでの経緯や、世界のカロムについて書かれています。

『伝承遊びを生かした保育』 滋賀県教育委員会編 滋賀県 1987年 [5-MA05- 87]

保育者向けに作られた資料です。一般の方にも、遊び方や道具が絵や楽譜入りでわかりやすく書かれています。

『近江の玩具』 近江郷土玩具研究会編
サンライズ出版 2004年 [S-7951- 97]

小幡人形をはじめ、近世から今日までの玩具が紹介されています。玩具にまつわるエピソードも書かれています。

『全国郷土玩具ガイド3 近畿・中国』 畑野栄三著
婦女界出版社 1992年 [S-7508- 92]

郷土玩具と、玩具が見られる施設が紹介されています。県内では、東近江市の世界風博物館などで見られます。

新しい滋賀の“かるた”ができました

『近江百人一首』 滋賀県文化振興事業団編集
滋賀県教育委員会 1993年 [5-9100- 93]

『唐崎カルタ』 唐崎学区文化協会・史跡研究部会編刊
2010年 [5-2911- 10]

『商いろいろはかるた』 木川かえる絵・書
小さな文化を作る会 2001年 [5-6700-01]

『みず・みどり・みんなイキイキ元気カルタ』
Wind Note 企画制作・刊 2001年 [5-5100-01]

※いずれも禁帯出ですが、参考資料室で閲覧できます。